

難易度
入門

欧州弁理士が解説するはじめての欧州・ドイツ特許出願

～単一特許制度も含め、制度と実務のポイントを比較表で分かりやすく解説～

講師	丸山 真木子 氏	欧州特許弁理士	
日時	2025年6月13日（金）16:00～18:00		

欧州市場でのビジネス展開に向け、特許権取得を考えていても、出願ルートや各庁の特徴、費用の目安が分からず、なかなか第一歩を踏み出せないことはありませんか？

この講座では、欧州特許庁（EPO）とドイツ特許商標庁（DPMA）の制度を比較しながら、出願から審査、異議申立に至るまでの基本的な流れをわかりやすく解説します。さらに、2023年6月から正式に運用開始となり、近年注目を集める単一特許制度（UP）の概要も取り上げます。

加えて、EPO・DPMAへの出願を見据えた日本語明細書の作成時に注意すべき点や、EPO・DPMAの審査での留意点といった実務的なアドバイスも盛り込みます。

<対象>

➤ これから欧州・ドイツでの特許出願を検討されている企業の知財・開発・経営企画担当者の方、また、実務経験者で「もう一度基本を整理したい」と考えている方にもおすすめの内容です

【解説内容】（予定）

- 1. 欧州特許庁（EPO）とドイツ特許商標庁（DPMA）の概要**
（欧州バンドル特許（EP）、欧州単一特許（UP）、ドイツ国内特許（DE）とは）
- 2. 知っておきたい！単一特許（UP）の概要**
（UPの登録方法、カバーできる国、オプトアウト、オプトイン、EPバンドル特許との違い、UPの利点・欠点）
- 3. 欧州特許庁（EPO）とドイツ特許商標庁（DPMA）の比較**
（出願から登録までの流れ、コスト、期間、審査の加速方法、各庁の求める形式的事項、進歩性判断）
- 4. どれを選ぶ？組み合わせる？EP、DE、UP**
- 5. 日本からの出願で特に注意すべきポイントと対策**
 - ・ 出願書類作成時（クレーム・明細書の記載、翻訳）
 - ・ 審査時、庁応答作成（補正、議論）

テキストはPDFで共有させていただきます



LIVE



ライブ配信だからその場で講師に質問可能 &
アーカイブ配信も実施（各講義翌日から2週間）

・聞き逃しても安心！期間内はなんどでも。
・再生速度を変更可能！